

# 大津けいはん タイムス

「大津けいはんタイムス」を手に取っていただきありがとうございます。  
本紙は大津市内を走る京阪電車沿線の人々との交流と、まちの活性化を  
目指し「大津の京阪電車を愛する会」の会員自らが作った情報紙です。

★「大津の京阪電車を愛する会」は、貴重な公共機関と  
しての京阪電車大津線（京津線・石山坂本線）の利用  
促進を図ることなどを目的に設立された市民団体です。



6



5

【石坐(いわい)神社】 大津市西ノ庄。  
創建は669年と古く、琵琶湖の神様として  
地域の人々に親しまれてきた。境内には御  
神木の樹齢800年の「榎」の巨木がある。毎  
年6月下旬「夏越の大祓」と「茅の輪くぐり」  
(写真5)が行われ、お参りの後に疫除け  
のお札と小さな茅の輪が授けられる(同6)。



8



7

【立木観音=写真7】 大津市石山南郷町。大津で厄除  
けと言えば「たちきさん」の愛称で呼ばれている立木観音。  
弘仁6(815)年、諸国修行中の弘法大師が、42歳の厄年に  
厄難厄病を救うため観世音菩薩を刻み建立したのがこの寺だ。  
木立の中、約800段の石段をお山の霊気を浴びつつ登っ  
てお参りすると、心身が清められる気がする。

【みたらし団子】 古くから罪やけがれ  
を祓う七瀬祓所(ななせのはらいしょ)の  
一つとして崇敬されてきた大津市唐崎の唐  
崎神社。神殿にお供えされている赤、黄、  
白、緑のみたらし団子を模した団子守り(写  
真8)を門口にお祀りすると病魔を除き清  
浄な家庭を築けるという。神社門前には  
「食べられる」みたらし団子のお店もある。

【風鈴】 寺院の軒に吊り下げられる風鐸  
は、疫病を運びとされた強い風が吹くと鈍  
い音を立て、音が聞こえる範囲は聖域と考  
えられた。江戸時代には暑い時期の魔除け、  
暑気払いの風鈴としてガラス製のものも庶  
民にも定着。大津市木下町の和田神社は  
2019年から夏ごとに風鈴棚(写真9)を設  
置する。御神木の子安イチョウの下で、そ  
の葉と色を表現する江戸風鈴が風に揺れる。



9

【鍾馗】 邪気を払うとされた中  
国の神、鍾馗。町家の門口、屋根  
瓦に載っている鍾馗人形を見たこ  
とがある人は多いのでは。写真4  
は大津市長等で。また江戸時代に、  
東海道を旅する人に土産として売  
られた大津絵の図柄の中でも、鍾  
馗は疫病除けの護符とされた。大  
津絵に見られる鍾馗は、髭や揉み  
上げだけでなく、頭上に生えあ  
がった髪が特徴。写真3は、大津  
市歴史博物館製の缶バッジ(直径  
5.5センチ、100円・税込み)。



4

【新春の藁蛇神事】 新春、大津市中心部の三社では、氏子や地域の  
人によって藁での大蛇作りが始まる。松の内になるとそれぞれの神社で  
古札とともに火にかけられ、一年の平安が祈願される。<長等神社・網  
打ち神事=写真11>尻尾が境内から飛び出るほどに長く作られ、それを  
踏むことによって蛇に災厄を託すとされる。この神事は1000年近く前か  
らの行事とされ、大津の町の歴史を感じる。<早尾神社・蛇の顔見世=  
同12>早尾神社を氏神とする尾花  
川町の自治会館では、雄雌の大蛇  
の顔が藁で作られ、子供たちがそ  
れを携え古札を集めに町内をまわ  
る。<三尾神社・蛇打ち神事=同  
13>御旅所がある三井寺駅脇で新  
春の数日、大蛇が高く掲げられる。



12



13

## 大津の 厄除け



3



2



1

【大津祭に見る湯立神楽(ゆたてかぐら)】 大き  
な釜で湯を沸かし、箆で撒かれた湯のしぶきを浴び  
ることなどで、無病息災や五穀豊穡などを願うのが  
湯立神楽。天孫神社の例祭・大津祭では、「神楽山」  
の宵宮・本祭の展示で、三輪明神、市殿、禰宜、飛  
屋といった湯立神楽を執り行う4体の人形が見られ  
る。また「湯立山」の所望では、神楽の様子がからく  
りで楽しめる。(写真1=大津祭曳山連盟提供)

【角大師(つのだいし)=写真2】 平安時代、天  
台宗の僧侶良源(元三大師)は、当時流行した疫病  
に自身も感染し高熱を出した。疫病の苦しさを体験  
した大師は、人々を救うため座禅に入り念じた。す  
ると角が生え、目がグリグリと丸く、口が耳まで  
裂ける鬼の姿になり、疫鬼は恐れを成して退散。そ  
の姿を弟子に写させ、弟子たちがその絵をお札に  
刷って人々に配った。お札を貼るとその家の住人は  
疫病を免れたことから、疫病よけとして信仰を集め  
ている。写真は比叡山延暦寺元三大師堂のお札。良  
源は「おみくじ」の考案者としても知られる。

【大津札を知りませんか】 古老の話では、大津は洪水や火事の少  
ない町ということから災害除けとして、他の地方で「大津」と書いた  
半紙大のものを「おくどさん」のそばに貼ったとのこと。消防団でも  
昔は入団すると「大津と書いておけ」と指導されたともいい、火伏の  
神か?との説がある。北陸地方で見たという話もある。読者のみな  
さん、「大津の京阪電車を愛する会」まで情報をお寄せ下さい。



11

【さかさ札=写真10】 女子が「十二  
月十二日水」と書いた札を、上下逆向  
けに貼る。尾花川では今も継承されて  
いて、毎年その時期になると各家に札  
が謂(いわ)れ書きとともに配られる。  
昔から女子は炊事など、火を使うこと  
が多いので数え年12歳になると、短冊  
に毛筆で書いて「自分の成長」と「火  
の用心、家内安全」  
を願って近所の  
家々へ配った。盗  
難避けの説もあ  
り、石川五右衛門  
の命日とされるこ  
の日に書いて蔵な  
どに貼り、天井か  
ら見る泥棒への戒  
めとしたという説  
もある。

10

石坂線の終点、坂本比叡山駅（2018年に坂本駅から改称）を降りると山側に日吉大社の大きな二の鳥居が目に入る。参道をはさんで両側には美しい穴太衆積み石垣の里坊が連なる。日吉大社の背後には緑深い比叡山がそびえている。振り返ると下り坂の一本道の先に碧い琵琶湖が見える（写真⑤）。

坂本の歴史は古代から中国、朝鮮から多くの渡来人を受け入れてきた。高い文化と優れた技術を持った人達が多かったという。788年に比叡山に最澄により延暦寺が創建され多くの寺院も建てられた。「坂本という地名は比叡山のふもとの意味で、延暦寺や日吉大社の門前町として発展してきた。延暦寺に関わる人々の必要な物資は坂本港に陸揚げされ終日人馬がここを往來した」と郷土読本「さかもと」に書かれている。

1570年信長の比叡山焼き討ちで延暦寺、日吉大社、西教寺、坂本の町はほとんど灰と化した。人々の犠牲も多かったが、その後そこに道路を縦横に走らせ、基盤の目のように整えて計画的に町づくりがなされた。比叡山から幾筋も流れる水を生活に取り入れて配分し復興を図った。今でも比叡山から流れ出る清らかな水が坂本の町を美しいせせらぎとなって流れている。

坂本で生まれ育った店主（72歳）は、「坂本の町は古くは農業、林業、宮大工などすべての職種が揃っていて、町の中ですべて完結するごちんまりとしているのが活気ある町だった。水道が完備されるまで店の前の水路の透き通った水は飲料水、生活用水としても使われていた。」と話してくれた。

坂本と言えば、今年のNHK大河ドラマ「麒麟がくる」の主人公明智光秀だ。西教寺と明智光秀の関わりについて西教寺の社会部主事の中島敬瑞さんに伺うことができた。西教寺は天台宗真盛宗の総本山で、どっしりとした

総門は坂本城のものを移築したもので（写真⑥上）、本堂からは「不断念仏」の音が鉦（かね）の音とともに流れ、寺の裏に山が迫っているので空気が清々しい。いろいろな表情をした「猿」の飾り瓦が、西教寺の境内の屋根の上から護り神となって鎮座している。

焼き討ちされた西教寺の復興にいち早く駆けつけ尽力したのが明智光秀である。西教寺は明智光秀の菩提寺で、本堂に向かって左側の墓地入口には明智一族の墓があり（写真⑥下）、そこには妻照子（ひろこ）の墓もある。

転戦で疲れた光秀を献身的に看病し、その後看病疲れで亡くなったという。戦国時代では異例なことだが光秀は妻の葬儀に参列している。「今堅田城」の戦いで戦死した部下の供養を西教寺に依頼して寄進物を送ったといい、部下思いの光秀の人柄の一端が偲ばれるエピソードだ。今は照子と琵琶湖を見ながら静かに二人で語り合っているように思える。

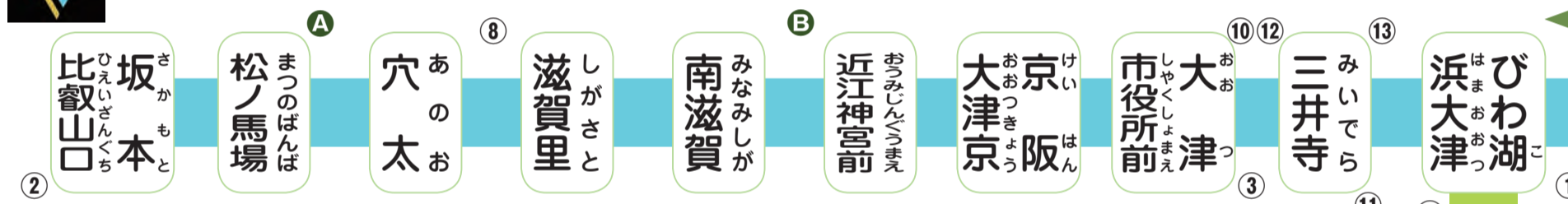
坂本の旅はいにしへの歴史を生々しく間近に実感することができ、心に沁みる旅であった。

# 思い浮かぶ光秀と熙子

## 途中下車の小さな旅 坂本比叡山駅が面白い



石山坂本線 駅名近くの①～⑬は1面「大津の厄除け」に関連する位置、A～Dは下欄「街歩き情報」の施設位置です。



## 街歩き情報 琵琶湖の見える公園

### 光秀と同じ視点で琵琶湖を見る…坂本城址公園 A

松ノ馬場駅を出て、比叡山無動寺から繋がる古くからの道を両社の辻へ、さらに旧街道の雰囲気を残す西近江路を南に進み、坂本城址の石柱のある辻から東南寺川に沿って湖方向に向かうと大きな光秀像が迎えてくれる。かつての坂本城本丸はこの公園から100m程北側にあったようだが、光秀は湖上に浮かぶ壮麗な天守かどのような思いでこの琵琶湖をながめていたのだろうか。（松ノ馬場駅下車 徒歩20分）

### それぞれの形で琵琶湖を楽しむ…大津湖畔なぎさ公園 C

琵琶湖岸4.8キロメートルにわたる細長い公園では、比叡の山並み、三上山、琵琶湖を感じながらウォーキング、ジョギング、サイクリングを楽しめる。芝生に腰をおろせば、湖面が波打つ音、小鳥のさえずり、魚の跳ねる音、遊覧船の汽笛の音も聞こえてきて、時の流れを忘れてしまう。カフェ・レストランもあり、テラス席での友との語りも楽しい。公園の中には、徳川家康が藤堂高虎に作らせたという湖上の浮城＝膳所城の本丸跡を利用した膳所城跡公園、対岸の矢橋との渡し船の目印とされた「石場の常夜燈」（1845年、現在地より300m南に建立）もあり、琵琶湖の歴史を感じることができる。（びわ湖浜大津駅～京阪石山駅各駅下車 湖岸へ徒歩数分）

### パノラマビューの中で琵琶湖と遊ぶ…柳ヶ崎湖畔公園 B

びわ湖大津館付近から琵琶湖に突き出た柳ヶ崎を廻り、柳川の河口付近に至る公園で、一部はかつて水泳場としてにぎわった。岬の先端部では北は比叡・比良、南は茶が崎に至るパノラミックな景観が一望できる他、びわ湖大津館のレストランやイングリッシュガーデン（有料）、柳ヶ崎湖畔公園港からの遊覧船などと組み合わせた楽しみ方も出来る。（近江神宮前駅下車 徒歩25分）

### 瀬田川の流れにのどかさ、若い力…唐橋公園 D

唐橋前駅下車。近江八景「瀬田の夕照」で有名な唐橋を渡り北へ、瀬田漁港の先に続くのが唐橋公園。琵琶湖から唯一流れ出ている川、瀬田川に向かってベンチが並び、対岸に大津の町を目にする事が出来る。川面に漁船やボートが浮かんでいる風景にはのどかさを感じ、大きな掛け声での漕艇部の練習風景に出会えば若い力を感じる。漕艇大会開催時には、各地から関係者が多く訪れ活気をみせる。春にはセタジジミ祭が開催され、冬になればイルミネーションで飾られ大津市南部の水辺の公園として親しまれている。（唐橋前駅下車 徒歩8分）



京津線土栄町駅近く、参道を横切る電車の写真で大津けいはんタイムスにも何度も登場している関蟬丸神社。水の神の豊玉姫（とよたまひめ）と歌舞音曲・芸能の祖神として崇められる蟬丸とを御祭神としている。ここで毎年5月下旬の日曜日に「関蟬丸芸能祭」が開催される（第6回となる令和2年はコロナ禍のため中止）。当日は朝10時から日暮れまで、拜殿舞台上に20組程の演者が登場する。境内には大勢の観客が、演奏に聴き入っている。その中で、来場者の案内や演者の段取り、境内の清掃や駐車場の整理などに汗をかいているスタッフがいる。関蟬丸神社芸能祭実行委員会の20名程のメンバーだ。前日の設営や早朝からの準備のため、近くのビジネスホテルに泊まる大阪のメンバーもいると聞く。

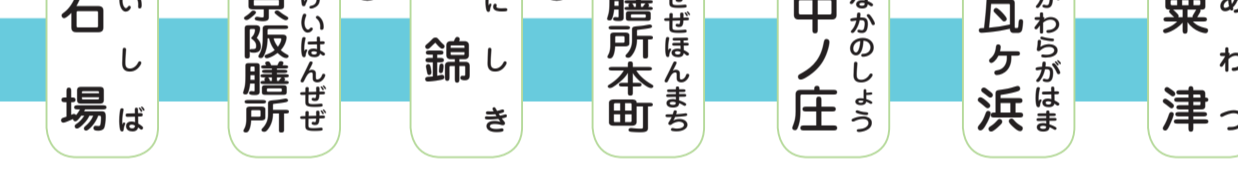
## 京阪沿線でがんばる人たち

### 神社復興と地域の文化支援 関蟬丸神社芸能祭実行委員会



第4回関蟬丸芸能祭の様子 揃いのシャツで運営にあたるメンバー

駅名近くの①～⑬は1面「大津の厄除け」に関連する位置、A～Dは左ページの下欄「街歩き情報」の施設位置です。



## 学ぶのは、人の命と尊厳を守ること 災害対応力や国際的視野も育む

### 大津赤十字看護専門学校 沿線の

京阪京津線土栄町駅を下車して数分にある大津赤十字病院から長等公園下を通り、長等神社の方に歩くと手前に、大津赤十字看護専門学校がある。1学年40名で3年間学ぶ、総定員120名の学び舎である（写真⑦下）。木立に囲まれた瀟洒な煉瓦造りの建物の玄関では赤十字の創設者アンリ・デュナンの写真と看護師の象徴と言えるナイチンゲールの像が出迎えてくれる。「学校や病院以外にも、地域の方との出会いと成長するチャンスがあります」と語る同校副校長からお話を伺った。創設は1904（明治37）年。日本赤十字社滋賀支部準備看護婦養成所が病院内に設置されたのが始まりであり、

当時流行っていたフリマでもできるかなと思いつつ、Facebookで思いを投げかけた。「関心を持つ人が増え、色んな意見が出たが『やるなら芸能祭やる』となった。1年近い準備の中で神社や氏子さんの方にメンバーが声を掛け、話しが進んだ。」と加藤さんは語る。実は加藤さんは地元の人でもなく、関蟬丸神社とも無縁だった。メンバーもほぼ同様だ。

演者には、芸能祭の格式を保つため一定の技量のある人に芸を奉納してもらうなど、地域の祭りなので学校の吹奏楽部や大津祭のお囃子など縁のある団体が出演する。多くの方に奉納していただき蟬丸さんに喜んでもらう。演者には神社から免状が渡される。

実行委員会会長の川戸良幸さんに話を伺った。「最初の3年間は芸能祭を行うのに精いっぱいだった。5周年を迎えるころになって、面白半分や蟬丸さんの名前を使って好きなことをやっているだけの団体ではないと、周りの理解が得られるようになった。氏子さんから何か協力できないかとの声が生まれてきた。

5周年を記念して、関蟬丸神社の復興支援の奉賛会を立ち上げた。この浄財で今年倒壊しかけていた社務所などを解体、境内を整備した。2022年の蟬丸没1200年祭には本殿を何とかしたい。」と語る。

また、「地域の誇れる神社、由緒ある神社が、地域の人々だけでは面倒をみきれなくなってきている時代だ。縁や地元でない周りの人が協力し熱い思いを持ってやれば、復興できる形ができるのではないかと。関心を持つ人が増え、来訪者が増え神社が良くなっていく。行政の支援も必要だが、民間主導で力を合わせて地域の氏神さんを守っていく。これが、日本の文化として復活していけば嬉しいし、関蟬丸芸能祭がその好事例となれば嬉しい。」と、メンバー全員の思いと夢を話す。

100年以上の歴史を持つ。1956（昭和31）年大津赤十字看護専門学校となる。1987（昭和62）年それまで赤十字病院内に置かれていた学舎が今の小関町に新築移転した。急激な社会情勢の変化の中、1995（平成7）年男子学生の受け入れを許可し、単位制の導入、看護大学への編入も可能となった。

<現在学校では> 同校独自の科目として「人権と赤十字」「赤十字活動論」「災害医療論」「災害看護論」さらに、外国語(英語/スペイン語・中国語選択)がある。赤十字の理念である「人道」を基礎とした学習の他、災害などへの緊急対応力や国際的視点を育てていく。卒業後の進路は、看護師としての就職が9割、助産師過程への進学が1割（令和元年度3月卒業実績）。最近では、看護師の働く場も拡大してきており、病院だけでなく、訪問看護ステーション、老人介護施設、障害者施設に就職する学生もいる。<学生たち（2年生）に思いを聞いた>（写真⑧下）

看護師志望のきっかけは、身内の入院体験などを通して看護師の仕事に憧れたり、身近で倒れた人を助けられなかった自分が不甲斐ないと思ったり、テレビのニュースで災害看護が活発な赤十字で人の役に立ちたいと思ったから、など熱い声が聴けた。若い女性には特別感のあるワンピース型のユニフォームとナースキャップについて聞くと、現在は式典の時のみ着用だが、戴帽式で看護師を目指す自覚が芽生えたとのこと（写真⑧上）。その他、戦時救護に向かう服装に由来する救護員服は、カッコいいと憧れているという。ある学生は、「コロナ禍で自分が媒介者になることの危険性を常に意識して生活していきたい」と語った。現在は、新型コロナウイルス感染症の影響で病院での実習が無くなり、学内で実習を行っている（写真⑧上）。副校長も「優しく意欲的な学生が多く、3年の間にとっても成長しています。いまはコロナと共生を余儀なくされる時代、覆ってからの医療も必要だが、視点を広く予防・健康を維持していくための看護も実生活から学んでくれていきます。」と結んだ。



「大阪、京都、びわ湖を結ぶ京阪電車」のブランドイメージを統一するために大津を走る京阪電車も車両の塗装変更が進んでいる。大正元年（1912）に京津線、大正2年（1913）に石山坂本線が開業してからまもなく110周年。その歩みを「電車の色」でたどりたい。あなたは何色の電車を覚えていますか。

## 京阪電車知って得する！まめ知識

# 電車の色でたどる大津線の歩み



### ■最初のカラフル塗装「びわこ号」

昭和9年（1934）登場当時、鉄道車両での明るいクリーム色は特に目立った。当時は三条駅で京阪本線と京津線が繋がっており、大阪・天満橋から浜大津まで直通運転した。令和2年（2020）9月からびわこ号カラーの復刻塗装車両を石山坂本線で運行を開始した【写真① 建造時の姿に復元したびわこ号⑤と復刻塗装車両⑥】。

### ■京都と大津を長く走った京阪特急色

昭和26年（1951）に赤とオレンジ色の特急車両が京阪線に登場し、三条で特急と接続する大津線の急行列車も同じ色に変更された【写真② 大津線で初めて特急色30形、中ノ庄駅にて：大津市歴史博物館所蔵（西村榮二郎氏撮影）】。昭和56年（1981）まで三条から石山寺までの急行や準急の直通運転もあり、大津市内を走る姿も見る事が出来た【写真③ 三井寺駅に停車する特急色260形：京阪電鉄提供】。

### ■大津ではあまり見かけなかった各停色

昭和36年（1961）から平成9年（1997）の地下鉄東西線との乗り入れ運転開始の前日まで活躍した80形。現役晩年は、三条から浜大津まで各駅停車の列車が走る早朝・深夜帯のみ、大津市内へ姿を見せた【写真④ 早朝の上栄町～浜大津間を走行する80形各停列車】。

### ■石山坂本線の電車の色は？

残されたカラー写真が少ないが、昭和30年代はクリームと濃紺だったという【写真⑤ 石坂線浜大津駅に停車中の10形車両：大津市歴史博物館所蔵（西村榮二郎氏撮影）】。昭和41年（1966）に登場した350形から緑のツートンカラー塗装が始まり、大津の京阪電車の色として令和まで駆け抜けた【写真⑥ 浜大津交差点の350形車両】。

### ■緑の電車に統一

昭和54年（1979）年に登場した500形は、浜大津から京都三条へ向かう京津線車両としては初めて、緑のツートンカラーとなった【写真⑦ 京津線浜大津駅を出発する500形準急列車：尼田賢光さん提供】。この車両の登場後、他の特急色車両は順次、緑のツートンカラーに変更され姿を消した。昭和56年（1981）には京津線浜大津駅が移転し、統合された浜大津駅が誕生した。

### ■びわ湖色パステルブルーの800系

平成9年（1997）京都市営地下鉄東西線との乗り入れ運転の開始に伴い登場。びわ湖をイメージしたパステルブルーの塗装は、この京津線800系のみ専用色で

あった【写真⑧ 上栄町～浜大津間で離合する800系車両】。以後、20年以上にわたって600形・700形とともに大津の京阪電車の顔として活躍してきた。

### ■期間限定の特別塗装

電車の車体を使って大津線沿線へメッセージを発信した第一号は、平成9年（1997）大津市内局番号の変更告知だった【写真⑨ 石坂線と京津線を統合した浜大津駅に向かう市内局番変更PR車両】。緑の電車ばかりだった当時、シルバーとピンクの派手な車体は特に目を惹いた。他にも坂本ケーブル80周年記念カラー【写真⑩ 車両⑤】や世界湖沼会議開催のマザーレイク号【写真⑩ 車両⑥】が運転された。

### ■再び緑色へ 京阪線と統一デザイン

平成29年（2017）以降は、これまでびわ湖浜大津駅のホームに立つと京都方面は水色、坂本比叡山口・石山寺方面は緑色だった電車の色も、中之島線開業に伴い変更された京阪線の車両と同じ色に順次統一されている【写真⑪ 京阪線と同一塗装の700形】

## 大津の京阪電車を愛する会からのお知らせ

皆さんも当会の会員になって、地域の足、京阪電車大津線を一緒に支えていきませんか

### 入会方法

- 会費は1年間 1口2,000円です
- 申込用紙兼振込用紙は、京阪大津線主要駅に設置しています。
- 駅で入手できない場合は住所、ご連絡先を電話（077-534-2800）でお伝えいただければ、申込用紙兼振込用紙をお送りします。
- 申込用紙兼振込用紙に必要事項をご記入の上、最寄りの郵便局で会費をお振込みください。後日会員証、乗車券等をお送りします。

### 入会特典

- 1口につき、大津線で使える普通乗車券綴り（170円区間×5枚）がついてきます。
- 会員証の提示で大津市内約40か所で割引等の特典が受けられます。
- 本会主催のイベント案内等を定期的にお送りします。



## 本号の特集にちなんだクイズラリー実施中です

京阪大津線沿線の厄除けスポットで、無病息災とコロナ退散をお祈りして賞品をゲットしよう！

回答締切 2021年1月31日

詳しくは主要駅設置パンフレットまたはホームページで。



## 大津の京阪電車を愛する会

otsusen.net

〒520-0861 滋賀県大津市石山寺3丁目27-11

TEL：077-534-2800

（祝日を除く月～金 9:00～17:00）

ホームページはこちらから →

